

第11条 発注者は、受注者が委託業務を遂行するため、自動車損害賠償保障法に基づく自動車損害賠償責任保険および保険会社が行う自動車損害賠償責任保険の任意保険（対人、対物および車輛）に加入するものとする。

(損害賠償)

第12条 第9条第1号または第2号の規定により、この契約が解除された場合においては、当該解除の事由を生じさせた者は、相手方にその損害を賠償しなければならない。

第13条 受注者は、次の各号のいずれかに該当する場合には、当該各号に定める額を発注者に賠償しなければならない。

(1) 毎日の収納金額が利用者から収受した運賃の総額より不足したと認められるときは、当該不足額。

(2) 受注者が、バス運行料金を亡失したときは、当該亡失した額。

(3) 受注者が、第6条の規定によるバスを故意または過失により破損し、または滅失したときは、当該損害額。ただし、受注者の負担によりこれを修理し、または現状に回復した場合を除く。

(4) 前各号に定めるもののほか、受注者の責に帰すべき事由により発注者に損害を与えたときは、当該損害額

2 前各号に定めるもののほか、受注者が委託業務の全部または一部を処理することができなかったため、発注者に損害を与えたときは受注者は当該損害額を賠償しなければならない。

(権利義務の譲渡禁止)

第14条 受注者は、この契約により生ずる権利、または義務を第三者に譲渡してはならない。

(再委託の禁止)

第15条 受注者は、委託業務の全部、または一部を第三者に再委託し、または請け負わせてはならない。

(バス運行料金の保管責任等)

第16条 受注者は、委託業務の実施によって生じたバス運行料金を善良な管理者の注意をもって保管しなければならない。

(バス運行料金の払込み等)

第17条 受注者は、毎日のバス運行料金をその翌日の午前中までに、日曜祝祭日については、その翌日の午前中までに発注者の定める払込書によって、発注者の指定する銀行等に払い込むとともに、対象月分の日報に月報を添えて、発注者に提出しなければならない。

(契約の変更等)

第18条 発注者または受注者は、この契約条項を変更しようとするときは、書面をもって申し出るものとする。この場合においては、双方協議して変更することができる。

(その他)

第19条 この契約に定めのない事項、またはこの契約に疑義を生じたときは、その都度発注者、受注者協議して定めるものとする。

この契約の証として本書2通を作成し、発注者、受注者それぞれ記名押印のうえ各自1通を保有する。

令和8年 月 日

発注者 委託者 香美市土佐山田町宝町1丁目2番1号
香美市長 依光 晃一郎

受注者 受託者